

2026年度 葵メディカルアカデミー 歯科衛生科

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	単位数	年次	担当者	実務経験を活かした授業内容
歯科英語	1	1年 前期	田村 覚美	歯科衛生士として歯科診療所での5年間の実務経験を活かした授業。臨床の現場で実際に使用する歯科英単語の知識習得に努める。
コミュニケーション論	1	1年 通年	田村 覚美	歯科衛生士として歯科診療所での5年間の実務経験を活かした授業で、医療人を目指す第一歩として、他者とのコミュニケーション能力・スキル・メンタルを考える。
歯科衛生学総論	2	1年 前期	橋本 理恵	歯科衛生士として歯科診療所での6年間の実務経験を活かした授業で、歯科衛生士の意義・役割・使命について理解をするために、歯科衛生士の歴史的変遷と取り巻く社会的背景、歯科衛生士業務について修得する。
歯科予防処置論Ⅰ	1	1年 前期	内田 綾	歯科衛生士として歯科診療所での10年間の実務経験と活かした授業で、歯および口腔の疾患を予防し健康な状態を維持・増進するために行われる専門的な処置を行うために必要な知識を学習し、実習を通して技術を身につける。
歯科予防処置論Ⅱ	1	1年 後期	内田 綾	歯科衛生士として歯科診療所での10年間の実務経験と活かした授業で、歯および口腔の疾患を予防し健康な状態を維持・増進するために行われる専門的な処置を行うために必要な知識を学習し、実習を通して技術を身につける。
歯科予防処置論Ⅲ	3	2年 前期	橋本 理恵	歯科衛生士として歯科診療所での6年間の実務経験を活かした授業で、歯科予防処置の目的・方法・手技について講義や実習を通して学び、生体に対する配慮を行いながら正確かつ迅速に歯石除去をする技術・能力・態度を身につけることを目標とする。
歯科予防処置論Ⅳ	3	2年 通年	橋本 理恵	歯科衛生士として歯科診療所での6年間の実務経験を活かした授業で、歯科予防処置の目的・方法・手技について講義や実習を通して学び、生体に対する配慮を行いながら正確かつ迅速に歯石除去をする技術・能力・態度を身につけることを目標とする。
保健指導論Ⅰ	2	1年 前期	大竹 紀子	歯科衛生士として歯科診療所での9年間の実務経験を活かした授業で、健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持し、増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術、態度を修得する。

保健指導論Ⅱ	1	1年 後期	大竹 紀子	歯科衛生士として歯科診療所での9年間の実務経験を活かした授業で、健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持し、増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術、態度を修得する。
保健指導論Ⅲ	2	2年 通年	大竹 紀子	歯科衛生士として歯科診療所での9年間の実務経験を活かした授業で、歯科衛生過程をすすめていく上で必要となる知識と技術を身につけるとともに、実際に歯科衛生診断、計画立案、評価等、歯科衛生過程に必要な能力を身につける。
歯科診療補助論Ⅰ	1	1年 前期	田村 寛美	歯科衛生士として歯科診療所での5年間の実務経験を活かした授業で、歯科診療補助に関する知識と技術を修得し、臨床の場に対応し得る能力を身につける。講義では基本的知識を理解し、基本技術は顎模型、マニキンでの実習、相互実習で修得する。
歯科診療補助論Ⅱ	2	1年 通年	岩片 真己	歯科衛生士として歯科診療所での8年間の実務経験を活かした授業で、歯科診療補助に関する知識と基本的技術を修得し、臨床の場に対応し得る能力を身につける。講義では基本的知識を理解し、基本的技術では顎模型、マニキンでの実習、相互実習で修得する。
歯科診療補助論Ⅲ	2	2年 前期	田村 寛美	歯科衛生士として歯科診療所での5年間の実務経験を活かした授業で、歯科診療補助に関する知識と技術を修得し、臨床の場に対応し得る能力を身につける。講義では基本的知識を理解し、基本技術は顎模型、マニキンでの実習、相互実習で修得する。
歯科診療補助論Ⅳ	3	2年 通年	岩片 真己	歯科衛生士として歯科診療所での8年間の実務経験を活かした授業で、歯科診療補助に関する知識と基本的技術を修得し、臨床の場に対応し得る能力を身につける。講義では基本的知識を理解し、基本的技術では顎模型、マニキンでの実習、相互実習で修得する。
臨地実習Ⅰ	3	2年 後期	大竹 紀子	歯科衛生士として歯科診療所での9年間の実務経験と活かした授業で、ライフステージごとの歯科保健指導能力を養うための手段として、保育園・幼稚園・小学校・中学校において口腔清掃指導の実習を行う。
臨地実習Ⅱ	3	3年 通年	3年次担任	歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、臨地実習Ⅰに基づき、対象者に対して口腔衛生指導の技術を確実にするとともに、歯科衛生過程に基づきアセスメントをとり、歯科衛生診断をし、歯科衛生計画を立て、介入まで行うことを目的とする。また、歯科衛生士として必要な知識・技術・態度を身につけ、自分の意見を持ち、さらに医療専門職として責任のある行動を獲得することを目的とする。

臨床実習Ⅰ	2	2年後期	2年次担任	校内実習を段階的に行った上で、それぞれ境遇の違う患者と接することにより、一人ひとりの口腔内状況を知り、その問題点を解決するために実習指導者はどう実施内容を考え、介入しているかを見学し、学ぶことを目的としている。また、最終学年での実習をより効果的かつ有意義にすることを目的とする。
臨床実習Ⅱ	12	3年通年	3年次担任	歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、臨床実習指導者のもとで患者を担当し、歯科衛生過程に基づきアセスメントをとり、歯科衛生診断をし、歯科衛生計画を立てて介入し、その後評価まで行うことを目的とする。また、歯科衛生士として必要な知識・技術・態度を身につけ、自分の意見を持ち、さらに医療専門職としての責任ある行動を獲得することを目的とする。
実例演習Ⅰ	1	2年後期	橋本 理恵	歯科衛生士として歯科診療所での6年間の実務経験を活かした授業で、人々の歯科衛生ニーズにあった支援をするために、論理的に思考し、問題発見及び解決することの意義を理解する。
実例演習Ⅱ	1	3年後期	3年次担任	歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、歯科医学の基礎、臨床基礎医学、治療学へとつながる一連の学問体系の中で、臨床実習で体験した経験を踏まえて歯科衛生士に必須の知識を再度学ぶことでそれらの必要性を改めて着実に発展させることを目的とした授業を行う。
実例演習Ⅲ	2	3年後期	3年次担任	歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、過去の業者模試を行う。これまでに学んだ歯科衛生士になるための知識とスキルの集大成が目的であり、この授業で学ぶことにより、歯科衛生士国家試験を合格できる実力が確保されることが目的である。
総合演習Ⅰ	1	3年後期	3年次担任	歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、科目ごとの確認試験を行う。これまでに学んだ歯科衛生士になるための知識とスキルの集大成が目的であり、この授業で学ぶことにより、歯科衛生士国家試験を合格できる実力が確保されることが目的である。
総合演習Ⅱ	1	3年通年	3年次担任	歯科衛生士として歯科診療所での実務経験を活かした授業で、業者ごとの模擬試験と卒業試験を行う。これまでに学んだ歯科衛生士になるための知識とスキルの集大成が目的であり、この授業で学ぶことにより、歯科衛生士国家試験を合格できる実力が確保されることが目的である。
合計	51			